

研究業績

I. 論文

- 「都市内公共輸送網のネットワーク分析—京都市営バスを例として—」(『人文地理』, 第32巻6号, 1980年, 493-503頁)
- 「移動=活動パターン分析の視点」(京都大学文学部地理学教室編『空間・景観・イメージ』, 地人書房, 1983年, 77-95頁)
- 「都市内部時空間における人口・活動分布の分析—姫路市と大阪市を例として—」(『奈良大学紀要』, 第12巻, 1983年, 105-121頁)
- 「都市内部時空間の因子生態—姫路市の人口のデイリー・リズム—」(『人文地理』, 第37巻1号, 1985年, 1-19頁)
- 「交通地理学における社会的視点」(水津一朗先生退官記念事業会編『人文地理学の視圏』, 大明堂, 1986年, 661-668頁)
- 「パーソナルコンピュータを用いた地理的データ処理および主題図作成」(『奈良大学紀要』, 第16巻, 1987年, 148-165頁)
- 「都市交通地理学の一断面—大阪大都市圏におけるモータリゼーションと女性—」(奈良大学文学部地理学教室編『地理学の模索』, 1989年, 地人書房, 29-40頁)
- 「パーソナルコンピュータを用いた文献情報データベースシステム—パーソナル・ユースを目的として—」(『奈良女子大学文学部研究年報』, 第33号, 1989年, 51-80頁)
- 「大都市圏周辺部における地域構成単位—奈良市中部を事例として—」(『奈良女子大学地理学研究報告 IV』, 1992年, 145-165頁)
- 「京阪神大都市圏の人口・活動分布の時空間パターン—自宅外諸活動の夜型化に注目して—」(『奈良女子大学地理学研究報告 V』, 1995年, 63-77頁)
- 「空中写真判読への画像解析技法の応用—バリオグラムを例として—」(平成6・7年度科学研究費一般研究(B)研究成果報告書, 研究代表者・武久義彦・小方登, 奈良女子大学文学部地理学教室編『大縮尺空中写真判読による地理的景観の復元』, 1996年, 62-67頁)
- 「バリオグラムを利用したラスター型画像データの特徴記述」(『奈良女子大学文学部研究年報』, 第40号, 1996年, 47-57頁)
- 「グラフィカル・ユーザー・インターフェイス(GUI)を用いたラスター型地理データ分析・表示システム」(『奈良女子大学地理学研究報告 VI』, 1996年, 1-21頁)
- 「性差からみた大都市圏における通勤パターン—大阪大都市圏を事例として—」(有留順子との共著)(『人文地理』, 第49巻1号, 1997年, 47-63頁)
- 「偵察衛星写真でみるシリアのヘレニズム植民都市」(平成6~9年度科学研究費基盤研

- 究 (A) 研究成果報告書, 研究代表者・戸祭由美夫『ユーラシアにおける都市圏郭の成立と系譜に関する比較地誌学的研究』, 1998 年, 193-204 頁)
- 「渤海の都城」(『衛星画像による東アジア都城の復原に関する歴史地理学的研究』, 平成 8～10 年度科学研究費基盤研究 (B) (2) 研究成果報告書, 研究代表者・千田稔, 1999 年, 全 53 頁, 34-47 頁)
 - 「西域の都城」(『衛星画像による東アジア都城の復原に関する歴史地理学的研究』, 平成 8～10 年度科学研究費基盤研究 (B) (2) 研究成果報告書, 研究代表者・千田稔, 1999 年, 全 53 頁, 48-53 頁)
 - 「GIS による大都市圏時空間パターンの分析方法」(成田孝三編『大都市圏研究 (上)』大明堂, 1999 年, 88-108 頁)
 - 「衛星写真を利用した渤海都城プランの研究」(『人文地理』, 第 52 巻 2 号, 2000 年, 19-38 頁)
 - 「衛星写真で見るシルクロードの古代都市」(『衛星写真を利用したシルクロード地域の都市・集落・遺跡の研究』, 『シルクロード学研究』, 第 17 巻, 2003 年, 全 99 頁, 3-37 頁, 1 頁の「はじめに」, 99 頁の「Summary」も執筆した)
 - 「衛星画像でみる渤海国の朝貢路—遼東半島・山東半島—」(千田稔・宇野隆夫共編『東アジアと『半島空間』—山東半島と遼東半島—』, 思文閣出版, 2003 年, 188-203 頁)
 - 「自由目的トリップ集中量の時間変化からみる京阪神大都市圏の地域構造」(山口直人との共著) (『地域と環境』, 第 5 号, 2004 年, 10-30 頁)
 - 「GIS の人文地理学への応用」(村山佑司編『シリーズ人文地理学 1 地理情報システム』, 朝倉書店, 2005 年, 139-160 頁)
 - 「ラスター型地理データの分析と表示—mapRaster2 の新機能—」(『地域と環境』, 第 8・9 合併号, 2009 年, 31-42 頁)
 - 「衛星画像でみる京阪奈丘陵の開発」(稲垣稜との共著) (『都市地理学』, 第 4 巻, 2009 年, 20-27 頁)
 - ‘An Idea for Ruins Research through Cooperation with Interpretation of the High-resolution Satellite Images, Archaeology, Historical Documents and Geography’ (相馬秀廣・田然・魏堅・森谷一樹・井黒忍・伊藤敏雄との共著) (*Journal of Arid Land Studies* (沙漠研究), 21-2, 2011, pp.45-49)
 - 「古代都市セレウキア・ピエリアの立地と形態—衛星画像と現地調査を通して—」(『地域と環境』, 第 12 号, 2012 年, 77-88 頁)
 - 「衛星写真から見たシルクロード遺跡」(『月刊地球』, 403 号, 2013 年, 216-225 頁)
 - 「衛星画像で見るサマルカンド地域の遺跡」(宇野隆夫, ベルディムロドフ・アムリディン編『ダブシア城—中央アジア・シルクロードにおけるソグド都市の調査—』, 真陽社,

2013年, 291-299頁)

- 「中央アジアにおけるテパの分布と形態—2013年度ウズベキスタン調査から—」(『地域と環境』, 第13号, 2014年, 109-120頁)
- ‘A Study of Settlement Remains near the Qiemo Oasis in Northwestern China using Satellite Imagery and DEM’ (于志勇・伊藤敏雄・相馬秀廣・出田和久との共著) (『奈良女子大学地理学・地域環境学研究報告 VIII』, 2015年, 9-29頁) (*Studies in Geography and Regional Environment Research, Nara Women’s University VIII*)
- 「中央アジアにおけるテパの分布と形態(その2)—2015年度ウズベキスタン調査から—」(『地域と環境』, 第14号, 2016年, 109-122頁)
- 「シチリア島・パレルモにおけるフェニキア時代の遺構について—2017年8月の調査から—」(『地域と環境』, 第15号, 2018年, 29-35頁)
- 「衛星画像と地形データ (DEM) を利用した歴史的場所の検討」(辻正博編『中国前近代の関津と交通路』, 京都大学学術出版会, 2022年, 3-14頁)

II. 訳書

- 『GIS 原典 [I]: 地理情報システムの原理と応用』(古今書院, 1998年, 全575頁) (Maguire, Goodchild and Rhind eds. *Geographical Information Systems, Volume 1*. 1991の全訳, 小長谷一之・碓井照子・酒井高正との共訳)

III. その他

- 『空中写真による歴史的景観の分析手法の体系化に関する基礎的研究』(共著) (昭和62・63年度科学研究費一般研究B研究成果報告書, 研究代表者・武久義彦, 1989年, 54-59頁)
- 『空中写真判読を中心とする歴史的景観の分析手法の確立』(共著) (平成2・3年度科学研究費一般研究B研究成果報告書, 研究代表者・武久義彦, 1992年, 42-47頁)
- 『東アジアにおける歴史的都市の成立と系譜に関する地理学的研究』(共著) (平成4・5年度科学研究費一般研究B研究成果報告書, 研究代表者・千田稔, 1994年, 50-55頁)
- 「高度情報社会における地図教育」(『地図情報』, 第17巻1号, 1997年, 16-19頁)
- 『地理情報科学用語集』(共同執筆) (地理情報システム学会 用語・教育分科会編, 1997年, 175頁, 「フラクタル」「総描」「メンタル・マップ」など51項目)
- 「自然地理学・人文地理学における米国偵察衛星写真の応用」(高田将志・相馬秀廣との共同発表) (日本地理学会春季学術大会発表要旨, 第53号, 1998年, 402-403頁)
- 「シルクロードの今昔 長安・洛陽・東京城」(『地図ニュース』, 315号, 1998年, 7-10頁)

- 「衛星画像と衛星写真について」(『衛星画像による東アジア都城の復原に関する歴史地理学的研究』, 平成8~10年度科学研究費基盤研究(B)(2)研究成果報告書, 研究代表者・千田稔, 1999年, 全53頁, 6-7頁)
- 「衛星写真の利用—遺跡探査や景観復元—」(高橋徹・後藤正・三蔵法師の道研究会『三蔵法師のシルクロード』, 朝日新聞社, 1999年, 51-55頁)
- 「(魏存成氏発表への)コメント」(千田稔編『東アジアの都市形態と文明史(国際シンポジウム21)』, 国際日本文化研究センター, 2002年, 162-163頁)
- 『地理情報科学事典』(共同執筆)(地理情報システム学会編, 朝倉書店, 2004年, 519頁, 「ラスタ型空間データモデル」, 「ベクトル型空間データモデル」の項目, 計4頁)
- 「宇宙から見た地球環境と歴史的景観—衛星画像の活用を通じて—」(『人環フォーラム』, 第16号, 2005年, 36-41頁)
- 「衛星写真の考古学・歴史地理学への応用」(宇野隆夫編『世界の歴史空間を読む—GISを用いた文化・文明研究—(国際シンポジウム24)』, 国際日本文化研究センター, 2005年, 397-402頁,)
- 「衛星写真に表れたイザベラ・バードの旅のルート沿いの景観—ペルシア・クルディスタンの旅の場合—」(『19世紀のアジアを描く英国人旅行家の旅行記と旅に関する歴史地理学的研究』, 平成14~16年度科学研究費基盤研究(B)(2)研究成果報告書, 研究代表者・金坂清則, 2005年, 260-267頁)
- 「コンピュータを利用した地図表現—ラスタ・データを中心に—」(『近代日本の大縮尺都市図に関する基礎的研究』, 平成13~16年度科学研究費基盤研究(B)(2)研究成果報告書, 研究代表者・山田誠, 6-7, 2005年, 47-54頁)
- 「農業」および「住宅地開発」(III. 近畿地方の地域誌, C 京都府, 2地域誌, 2)南山城のうち)(金田章裕・石川義孝編『日本の地誌8 近畿圏』, 朝倉書店, 2006年, 362-369頁)
- 「中国・新疆ウイグル自治区・且末オアシス周辺における集落・用水路遺跡の検討—衛星画像とDEMを利用して—」(相馬秀廣らとの共同発表)(『2006年人文地理学会研究発表要旨』, 2006年, 108-109頁)
- 「衛星画像から読み取る文化要素」(『トンボの眼』, No. 4, 2006年, 6-7頁)
- 「且末(チェルチェン)オアシス周辺の遺跡調査—フィールドノートから—」(『中国タリム盆地におけるシルクロード時代の遺跡の立地条件からみた類型化—衛星写真CORONAの活用を通して—』, 平成15~18年度科学研究費基盤研究(A)(2)海外学術調査研究成果報告書, 研究代表者・相馬秀廣, 2007年, 47-58頁)
- 「都市のリモートセンシング (Remotely Sensed Cities, edited by Victor Mesev, 2003の書評)」(『地理情報システム学会ニューズレター』, 第68号, 2008年, 15-16頁)

- 「空からの映像でみる歴史景観」（『歴博』, No. 158, 2010年, 16-19頁）
- 「文学・史料と衛星画像から読み解く都市」（『人環フォーラム』, 第26号, 2010年, 22-25頁）
- 「リビアのカルタゴ・ローマ都市」（泉拓良編『フェニキア・カルタゴ：考古学から見た古代の東地中海：2008年度』, 2010年, 10-11頁）
- 「チュニジアのカルタゴ関連都市遺跡」（泉拓良編『フェニキア・カルタゴ 考古学から見た古代の東地中海 2009・2010年度』, 2011年, 14-16頁）
- 「文献紹介 HGIS 研究協議会編『歴史 GIS の地平—景観・環境・地域構造の復元に向けて—』（『歴史地理学』, 55巻2号, 2013年, 44-46頁）

IV. 主な招待講演等

- 「衛星写真で見るシルクロードの古代都市」（シルクロード研究センター主催, 「シルクロード文化セミナー2004」, 2004年9月11日）
- 「衛星写真を利用したユーラシア古代都城プランの研究」（条里制・古代都市研究会 2005年3月5日）
- 「衛星写真を利用した都城景観の復原—高句麗・渤海から北庭故城まで—」（唐代史研究会夏期シンポジウム 2005年8月24日）
- 「衛星写真から判読するチェルチェン故城（ライリルク遺跡）と用水網」（相馬秀廣らとの共同発表）（科学研究費「タリム盆地」グループ・地球研「里」プロジェクト主催, 「シルクロード国際シンポジウム」, 2006年2月19日）
- 「欧亚大陸古代城市与交通的太空映像—衛星照片与欧亚大陸歴史人文景観研究」「日本現代都市の時空電子図案—現代影像電算技術与都市生態的史地研究」（上海師範大学・青年学者講座 2008年5月20, 21日）
- 「欧亚大陸古代城市与交通的太空映像—衛星照片与欧亚大陸歴史人文景観研究」（復旦大学・譚其驥歴史地理講座 2008年5月21日）
- 「衛星画像で見るシルクロードの都市遺跡 — トルファン, サマルカンド等」（兵庫地理学協会・特別例会 2008年12月6日）
- 「地理学からみたフェニキア・カルタゴの都市」（2011年度国土舘大学アジア・日本研究センター主催国際シンポジウム「フェニキア考古学から見た古代オリエント」2011年11月13日：国土舘大学）
- 「基于衛星図像的欧亚大陸古城立地与形制研究」（復旦大学歴史地理研究中心 「“城市・空間・文化”国際學術研討会」2012年10月21日：復旦大学）
- 「衛星画像と地形データでみるフェニキア・カルタゴの都市の立地」（フェニキア・カルタゴ研究会 第2回公開報告会, 2016年3月13日：放送大学東京文京学習センター）

小方登先生の略年譜と業績

- 「亜洲歴史城市与聚落之立地，形態的類型化考察—基于衛片，地形数据的分析（鍾狃教授翻积）」，2017年7月18日，“跨学科背景下的城市人文遺產研究与保護”国際學術研討会（International Conference on Urban Cultural Heritage: Research and Protection from Interdisciplinary Perspectives, 2017年7月18～19日：上海社会科学院歴史研究所）